

様式例第1号の5

損害通知書兼野帳（品質方式、災害収入共済方式）
 （全筆調査、共済事故確認調査、一筆全損被害及び一筆半損被害確認調査）

記入日をご記入ください

【組合員記入例】 組合員様は、太枠内をご記入ください

組合員等記入日 令和〇年 5月 15日

共済目的	麦	類区分	秋小麦	引受方式	災害収入共済方式	共済限度額割合	90%	一筆半損選択	有
大地区	名古屋市	小地区	その他	損害評価地区					
組合員等コード	8888888	組合員等氏名	愛知 農済	評価者					

耕地番号	分筆番号	災害の発生月日	災害の種類	半損以上の耕地の該当の有無	収穫予定月日	出荷予定月日	農業協同組合等に出荷しない耕地等の該当の有無	評価月日	災害の種類	肥培管理	分割割合(%)	分割事由	一筆全損被害及び一筆半損被害確認調査結果	全筆調査単収(kg/10a)
0001	001	中区丸の内2丁目1番11号の1	10.0	きぬあかり	400									
0002	001	中区丸の内2丁目1番11号の2	15.0	きぬあかり	600	5月10日	鳥害(スズメ)							
0003	001	中区丸の内2丁目1番11号の3	20.0	きぬあかり	800		被害なし							
0003	002	中区丸の内2丁目1番11号の4	25.0	ゆめあかり	1,125		被害なし							
0004	001	中区丸の内2丁目1番11号の5	30.0	ゆめあかり	1,350		被害なし							
0005	001	中区丸の内2丁目1番11号の6	35.0	ゆめあかり	1,575	4月1日	土壌湿潤害	○	6月1日					

農家の記入についてのお願い

- 被害農家は太枠内に必要事項を記入し、共済連絡員にすぐに届けてください。 に必要事項を記入し、損害評価日に耕地ごとによく見えるように立ててください。
- 災害の発生した被害耕地は、「災害の発生月日」欄に災害が発生した月日を記入するとともに、「災害の種類」欄に、冠水、流失、穂くびいもち、二化めい虫等と具体的な災害名を記入してください。なお、災害の発生がない耕地については、「災害の種類」欄に「被害なし」と記入してください。
- 「半損以上の耕地の該当の有無」欄は、一筆半損特約を付している場合は半損以上（皆無を含む。）の被害を被った耕地について該当欄に「○」を記入してください。また、当該特約を付していない場合は収穫が皆無となる被害又は共済事故により移植できなかったか若しくは発芽しなかった部分の面積が7割以上の耕地を被った耕地について該当欄に「○」を記入してください。
- 収穫物を農業協同組合等に出荷する予定の耕地については、その出荷予定日を「出荷予定月日」欄に記入して下さい。
- 収穫物を自宅へ収納する場合など、農業協同組合等に出荷しない予定の耕地又は収穫しない予定の耕地については、その収穫予定日を「収穫予定月日」欄に記入し、「農業協同組合等に出荷しない耕地等の該当の有無」欄に「○」を記入してください。
- この損害通知を出された耕地は、農業共済組合（市町村）又は農業共済組合連合会が刈刈りを実施することがありますから了承ください。